

# 立命館大学大学院 2021年度実施 入学試験

## 博士課程前期課程

# 文学研究科

## 人文学専攻・東洋史学専修

入試方式	実施月	コース	専門科目		外国語 ※英語・中国語(漢文・現代中国語) のうちから1科目を選択		
			ページ	備考	科目	ページ	備考
一般入学試験	9月	研究一貫	P.1~		英語	×	
					中国語	P.3~	
	2月	研究一貫	P.6~		英語	P.8~	
					中国語	P.10~	
9月	高度専門	P.1~		斜線			
				2月	高度専門	P.6~	
社会人入学試験	9月	研究一貫	×				
				2月	研究一貫	×	
	9月	高度専門					
				2月	高度専門		
外国人留学生入学試験	9月	研究一貫	×				
				2月	研究一貫	×	
	9月	高度専門	P.1~				
				2月	高度専門	×	
学内進学入学試験	9月	研究一貫					
		高度専門		斜線			
学内進学入学試験 (大学院進学プログラム履修生対象)	2月	研究一貫		斜線			
		高度専門		斜線			
APU特別受入入学試験	9月	研究一貫		斜線			
		高度専門		斜線			

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの  
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院  
2021年度実施 入学試験  
博士課程後期課程

# 文学研究科

## 人文学専攻・東洋史学専修

入試方式	実施月	外国語		
		科目	ページ	備考
一般入学試験	2月	英語	×	
		中国語 (漢文・現代中国語)	×	
外国人留学生入学試験	9月			
	2月			
学内進学入学試験	2月			

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの  
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

※試験終了後、ホッチキスで綴じること(太線の4箇所)

2022年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2021年9月11日

博士課程前期課程 人文学専攻  
東洋史学専修

「専門科目」

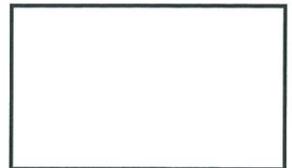
全 4 ページ

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること  
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない



2022 年度入学試験 (2021 年 9 月実施)

## 文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏名
人文学専攻 (東洋史学専修)	前期課程	専門科目	<input type="checkbox"/> 研究一貫 <input type="checkbox"/> 高度専門		

I. 受験者の研究テーマについて、学界における研究状況を整理し、それらをふまえた上で受験者自身の研究の特徴や独自性について述べよ。(40点)

II. 次のテーマから1つを選び、中国史全体におけるその特質と意義を記せ。(60点)

- ① 言論・思想統制                      ② 民族と国家

III. 次のテーマから5つを選び、知るところを記せ。(各20点)

- (1) 仰詔文化    (2) 春秋の五覇    (3) 董仲舒    (4) 臨朝称制    (5) 五斗米道  
 (6) 『文選』    (7) 六鎮の乱    (8) 吐谷渾    (9) 大秦景教流行中国碑  
 (10) 安史の乱    (11) クリルタイ(忽里勒台)    (12) 景德鎮    (13) 里甲制  
 (14) 都察院    (15) キャフタ条約(恰克圖條約)    (16) 同治中興    (17) 華僑  
 (18) 陳独秀    (19) アジア四小龍    (20) 一国二制度(一国兩制)

※ 答案用紙に問題番号を表記し、スペースを自由に配分して回答を作成しなさい。

※試験終了後、ホッチキスで綴じること(太線の4箇所)

2022年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2021年9月11日

博士課程前期課程 人文学専攻  
東洋史学専修

「外国語」(中国語)

全 4 ページ

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること  
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない



文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名 人文学 専攻 (東洋学専修)	課程 前期課程	科目 外国語 (中国語)	コース <input type="checkbox"/> 研究一貫 <input type="checkbox"/> 高度専門	受験番号	氏名
-----------------------------	------------	--------------------	---	------	----

問題1 次の文章を日本語に訳しなさい。(傍線がある語は固有名詞)

道前事九君，未嘗諫諍。世宗初即位，劉旻攻上黨，世宗曰：「劉旻少我，謂我新立而國有大喪，必不能出兵以戰。且善用兵者出其不意，吾當自將擊之。」道乃切諫，以為不可。世宗曰：「吾見唐太宗平定天下，敵無大小皆親征。」道曰：「陛下未可比唐太宗。」世宗曰：「劉旻烏合之衆，若遇我師，如山壓卵。」道曰：「陛下作得山定否？」世宗怒，起去，卒自將擊旻，果敗旻于高平。世宗取淮南，定三關，威武之振自高平始。其擊旻也，鄙道不以從行，以為太祖山陵使。葬畢而道卒，年七十三，謚曰文懿，追封瀛王。

(宋)歐陽修撰・(宋)許无党著、陳尚君修訂

《新五代史》(点校本二十四史修订本)二〇(中華書局、二〇一五年、六九五ページ)

## 文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏 名
人文学 専攻 (東洋学 専修)	前期課程	外国語 (中国語)	<input type="checkbox"/> 研究一貫 <input type="checkbox"/> 高度専門		

問題 2 次の文章を日本語に訳しなさい。

除了聘贡外交的使命外，留居长安的遣唐使、学问僧及其他各类日本人，大都充当日本朝廷在唐朝的耳目间谍，进行刺探搜集唐朝情报的间谍活动。他们归国后向朝廷全面奏报唐朝的国情，涉及唐内政及对外民族关系等多方面情势，而必获天皇赏赐。日本朝廷便根据情报制定或改变对唐的外交政策。正因如此，唐朝每当准备出兵日本邻国，常借故拘留遣唐使官于长安，避免他们向日本朝廷通报机密军情。长安的遣唐使官还不时招揽唐人甚至外国人才，入仕日本朝廷。由于日本朝廷很重视遣唐使团的外交使命，完成使命归国的使官大都获日本朝廷加官进位，委以中央或地方政府的要职，发挥在唐所学专长，并厚加奖赏。日本朝廷也常给遇难的遣唐使官追赠官位，表彰功绩，以示恩宠。日本朝廷还表扬入仕唐朝的留学生，对至死仕唐者赠官进位，以敦睦两国邦交。它还特别重视和擢用具有才干政绩的遣唐使官，天皇常劝诱仕唐的使官归国担任朝廷要职，改进国家统治。遣唐使官和留学生在长安学习唐朝的先进文物制度、儒教吏治及宗教风俗，涉及文学、经史、历法、唐乐、琵琶、曲谱、众艺、唐服、宫廷及官僚制度等多方面知识。他们努力把唐朝制度、文化及宗教风俗引进日本，传播推广。天皇常下令朝廷采用他们带来的唐朝典制，尤其任用归国留学生为国家官僚教育机构的教官，传授唐朝的儒学及实用科技知识，改革国家制度。另外，学问僧也将日本文学传入唐朝，促进两国的文学交流发展。

## 【出典】

萧锦华 (2018) 〈《大日本史》所见日本遣唐使团之制度及其在唐外交政治与文化交流活动〉杜文玉・何志龙主编《长安与世界对话：唐都长安1400年国际学术研讨会论文集》社会科学文献出版社 pp.42

※試験終了後、ホッチキスで綴じること(太線の4箇所)

2022年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2022年2月12日

博士課程前期課程 人文学専攻  
東洋史学専修

「専門科目」

全 2 ページ

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること  
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない



## 文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏名
人文学 専攻 (東洋史学 専修)	前期課程	専門科目	<input type="checkbox"/> 研究一貫 <input type="checkbox"/> 高度専門		

I. 受験者の研究テーマについて、学界における研究状況を整理し、それらをふまえた上で受験者自身の研究の特徴や独自性について述べよ。(40 点)

II. 次のテーマから 1 つを選び、中国史全体におけるその特質と意義を記せ。(60 点)

- ① 儒教と官僚制    ② 中国王朝の首都の移動

III. 次のテーマから 5 つを選び、知るところを記せ。(各 20 点)

- ① スキタイ文化   ② 匈奴   ③ 三星堆文化   ④ 封建   ⑤ 『戦国策』   ⑥ 陰陽五行説   ⑦ 外戚   ⑧ 『春秋左氏伝』  
 ⑨ 北魏孝文帝   ⑩ 門下省   ⑪ ソンツェン=ガンポ   ⑫ 募役法   ⑬ 宋学   ⑭ 『四書大全』と『五経大全』  
 ⑮ 東林派   ⑯ 白蓮教徒の乱   ⑰ 地丁銀   ⑱ 戊戌の変法   ⑲ 紅衛兵   ⑳ 社会主義市場経済

※試験終了後、ホッチキスで綴じること(太線の4箇所)

2022年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2022年2月12日

博士課程前期課程 人文学専攻  
東洋史学専修

「外国語」(英語)

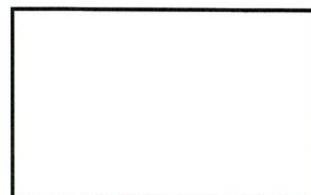
全 3 ページ

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること  
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 選択した外国語の辞書(英語辞書)の持込は認める  
(電子辞書・専門用語辞書は不可)
- ② 上記①の他には、筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない



## 文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏名
人文学専攻 (東洋史学専修)	前期課程	外国語 (英語)	<input type="checkbox"/> 研究一貫 <input type="checkbox"/> 高度専門		

次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。解答は、2枚目と3枚目の答案用紙に、それぞれ記入すること。なお、問題文中にピンイン(拼音)で表記されている固有名詞は、解答する際すべて漢字で表記するように。

(1) The twelve years from Yuan Shikai's death until the establishment of the Nationalist government in 1928 are usually referred to as China's warlord period. In the absence of a strong central power, commanders in Yuan's old army, governors of provinces, local strongmen, and gangsters busied themselves building up power bases. For a while the key struggle seemed to be for control of the north, as the strongest warlords waged highly destructive wars across north China. With no one in charge, bandit gangs appeared everywhere, often causing more disruption<sup>1</sup> to everyday life even than the warlord armies, and forcing villages to form local defense forces.

(2) While all this was going on, young intellectuals were waging their own wars against old and outmoded ideas. Those who received modern educations felt that they had inherited the obligation of the literati to advise those in power; they moreover believed themselves uniquely qualified by their modern educations to 'save' China. This was particularly true at the newly reorganized Beijing University, where Chen Duxiu, the founder of the periodical *New Youth*, had been appointed Dean of Letters<sup>2</sup>. Chen was a zealous advocate<sup>3</sup> of individual freedom. In the first issue of *New Youth* in 1915 he challenged the long-standing Confucian deference toward elders by celebrating youth. He urged<sup>4</sup> his readers to think for themselves and not let the old contaminate them. In other articles he wrote that Confucianism had to be rejected before China could attain<sup>5</sup> equality and human rights.

One of the first faculty members appointed to Beijing University by Chen Duxiu was Hu Shi. (3) Hu Shi was not as all-encompassing in his rejection of tradition as Chen. The aim of the new thought, he wrote in *New Youth*, was not to replace old beliefs with ones imported from the west but to develop the habit of critical thought: ancient wisdom had to be re-evaluated on the basis of whether its tenets<sup>6</sup> were still suitable to the needs of the day.

While still in the United States, Hu Shi began a campaign to get people to abandon writing in the classical literary language that had been the mark of the educated person for so many centuries. Since Chinese civilization had been so closely tied to this language, his assertions<sup>7</sup> came dangerously close to declaring Chinese civilization dead. (4) Hu Shi did recognize that the old written language had allowed communication between speakers of mutually unintelligible dialects and thus had been a source of unity, but he argued that once a national literature was produced in vernacular Chinese, a standard dialect would establish itself, much as such standard vernaculars had gained hold in Europe.

Chen Duxiu supported Hu's literary reform, and soon *New Youth* was written entirely in colloquial Chinese. To Chen, the liberating effects of language reform were its strongest drawing points; its use would open literature to 'the people' and free thought from the stultifying<sup>8</sup> effect of old mindsets.

問1 下線部〔1〕を含む段落の内容を踏まえ、1916年から1928年にかけての中国の国内情勢について、具体的に説明せよ。

問2 下線部〔2〕を日本語に訳せ。

問3 下線部〔2〕・〔3〕を含む段落の内容を踏まえ、中国の伝統思想や古典文学に対する Chen Duxiu と Hu Shi の考え方の違いについて、具体的に説明せよ。

問4 下線部〔4〕を日本語に訳せ。

語注 1. disruption: (制度などの) 崩壊・分裂 / 2. Dean of Letters: (北京大学の) 文科学長 / 3. advocate: 擁護者・支持者  
4. urge: (何かをするよう) 奨励する・懇願する / 5. attain: (目的などを) 達成する / 6. tenet: 教義・信条・主義  
7. assertion: 主張 / 8. stultify: (権威・伝統などを) 愚弄する・無効にする

※試験終了後、ホッチキスで綴じること(太線の4箇所)

2022年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2022年2月12日

博士課程前期課程 人文学専攻  
東洋史学専修

「外国語」(中国語)

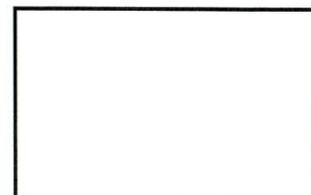
全 4 ページ

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること  
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない



## 文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏名
人文学専攻 (東洋史学専修)	前期課程	外国語 (中国語)	<input type="checkbox"/> 研究一貫 <input type="checkbox"/> 高度専門		

【問題一】 次の漢文を書き下し文に直しなさい。(傍線は固有名詞)

漢中程文矩妻者，同郡李法之姊也，字穆姜。有二男，而前妻四子。文矩爲安衆令，喪於官。四子以母非所生，憎毀日積，而穆姜慈愛過仁，撫字益隆，衣食資供皆兼倍所生。或謂母曰：「四子不孝甚矣，何不別居以遠之？」對曰：「吾方以義相導，使其自遷善也。」及前妻長子興遇疾困篤，母惻隱自然，親調藥膳，恩情篤密。興疾久乃瘳，於是呼三弟謂曰：「繼母慈仁，出自天受。吾兄弟不識恩養，禽獸其心。雖母道益隆，我曹過惡亦已深矣。」遂將三弟詣南鄭獄，陳母之德，狀己之過，乞就刑辟。縣言之於郡，郡守表異其母，獨除家徭，遣散四子，許以脩葺，自後訓導愈明，並爲良士。

穆姜年八十餘卒。臨終勸諸子曰：「吾弟伯度，智達士也。所論薄葬，其義至矣。又臨亡遺令，賢聖法也。令汝曹遵承，勿與俗同，增吾之累。」諸子奉行焉。

(宋)范曄撰、(唐)李賢等注《後漢書 第九冊》(中華書局、一九六五年)

## 文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏名
人文学専攻 (東洋史学専修)	前期課程	外国語 (中国語)	<input type="checkbox"/> 研究一貫 <input type="checkbox"/> 高度専門		

【問題二】 次の文章を現代日本語に訳しなさい。

宋朝如此优待文人,不仅很快就营造出了重文轻武的社会氛围,而且还造就了一套成熟的文官制度。皇帝在中央牢牢控制着军权、财权和用人权,然后用饱读诗书的文人去处理具体的行政事务,代替皇帝治理地方。这种的文官制度显然以前的贵族政治更为公正、合理,也比唐末至五代时期的藩镇割据局面更加安全。在宋朝之前,常有大将、后妃或者重臣夺权篡位的事情发生,但宋朝成立之后,再无大将、后妃或权臣篡权的事件发生。另外,通过大规模科举的方式选拔文官,成功地将大量人才(尤其是优秀的平民子弟)收罗到了政府之中。优秀的平民子弟可以通过科举进入官场,参与到国家管理之中,这等于开通了底层人才上升的通道,不致造成社会阶层板结、固化的弊端。所有这些,都使宋朝的政治比以前更加稳定,社会的经济和文化也更加繁荣。

【出典】

郑连根 (2017) 〈极简中国史〉齐鲁书社, pp.194